

宮崎大学医学部附属病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

研究課題名 (研究番号)	切迫早産、前期破水症例における羊水感染の予測モデルを構築する後方視的研究
当院の研究責任者 (所属)	松澤 聡史 (産婦人科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	宮崎市郡医師会病院産婦人科 牧 洋平 都城医療センター産婦人科 古田賢
本研究の目的	羊水中への細菌や真菌の侵入による羊水感染は早産の原因になることが知られています。また、早産で出生した新生児が感染症を合併していた場合は、感染症がない新生児と比較して合併症や死亡率が高いことが知られています。切迫早産や破水で入院した方に対して、お腹から子宮内に針を刺して羊水を採取し、羊水感染の有無を判断することがあります。しかし、この検査は子宮に針を刺すという侵襲的な検査です。そこで、一般的な発熱や血液検査、診察所見で羊水感染の予測ができないか、過去のデータを用いて明らかにするための研究です。
調査データ 該当期間	2014年4月1日から2022年3月31日に宮崎大学医学部附属病院に切迫早産または前期破水で入院し、羊水検査をした患者様が対象です。
研究の方法 (使用する試料等)	後ろ向き試験 カルテ内の既存のデータを採取して解析します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	得られた情報は情報管理者である宮崎大学産婦人科学講座に電子媒体で直接持参し保存します。その際は次項の通り匿名化された情報とし、個人情報に十分留意します。
個人情報の取り扱い	研究実施に関わる情報を取り扱う際は匿名化された情報とし、対象者の個人情報とは無関係の研究番号を付して管理し、秘密保護に十分配慮します。対応表の管理にあたってはネットワークから切り離された宮崎大学産婦人科学講座のコンピュータに保存し、ファイルにはパスワードを設定します。研究の結果を公表する際は、対象者を特定できる情報を含まないようにします。
本研究の資金源 (利益相反)	本学の研究責任者が所属する診療科の研究費で実施されます。また、利益相反はありません。
お問い合わせ先	宮崎大学医学部附属病院産婦人科 松澤 聡史 電話 0985-85-0988
備考	